

平成 27 年度農業農村工学会全国大会
企画セッション『水利システム更新時におけるパイプラインの水理学的課題』

開催趣旨：

国土強靱化や資源エネルギー有効活用の動きなどを背景に、今後の水利システム更新に向けて管水路が果たす役割は大きい。もともと優位性の高い機能に関しては将来的にもこれを最大限発揮できる水利システム更新計画・設計手法確立が必要である。一方、現場では圧力管理、制御操作、点検補修などに関わる管水路特有の問題が残されている。本セッションでは水理学をベースにしながらシステム更新時の管水路の問題を広く議論する。

プログラム：

1. 農業用パイプラインの補修・補強工法の現状と水理学的課題
(関東農政局・○野村、塩野)
2. 複数個の止水バンド施工による損失水頭について
(三祐コンサルタンツ・○松田、農工研・浪平、中田、樽屋)
3. 管水路の流速係数 -事例紹介、施設評価の課題-
(内外エンジニアリング・宮田、○春本、上野)
4. パイプラインにおける技術の進歩と事故リスク低減の関係
(宮崎大・○稲垣)
5. 水撃圧による小口径塩ビ管の破損事故
(農工研・○田中)
6. 農業用パイプラインに発生する弾性波による非破壊安全性診断 -気液二相流を事例に-
(新潟大・○鈴木、農工研・樽屋、中)

オーガナイザー 農工研・樽屋啓之